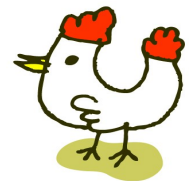


バリ通信



2211号

バリ通信は
過去に

(有)FORZA
愛媛日産自動車(株) 勤務時代
公益社団法人 今治青年会議所
今治商工会議所青年部

を通じて面識のある大切な方にお送りしております。

イマイチ盛り上がっていない気がするが、森保ジャパンはワールドカップで勝てるのか？

『またサッカーネタ？』と、サッカーに興味のない方は思われるかもしれないが、4年に1回のこの大会、実は世界の総視聴者数は夏季オリンピックの5倍とも言われている世界最大のスポーツイベントなのでお許しください！

今回も2203号でJ3を評論家気取りで語ったように、松木安太亮に扮しまして、11月21日から始まるサッカーのワールドカップ・カタール大会について、あーだこーだと書いていきたいと思いますのえ、最後までお付き合いください！

『あれ？ワールドカップって今年？』っと思われた方もいるかもしれない位、今回のワールドカップはイマイチ盛り上がりにかけているかもしれないねえ、、『昔みたいに中田・中村俊輔・本田・香川等のスター選手不在』『監督が地味・戦術が無いに等しい』等、様々な理由が言われておりますが、やはり最大の理由は『放映権の高騰で、民間放送で日本代表のワールドカップ予選を放送できなかった』『コロナ禍の制限で観客動員が少なかった』に尽きると思います。一部のホーム戦(日本での試合)は放送されましたが、普段はサッカー観ないけど、日本代表の試合は観る、という方がテレビ観戦出来なかったというのは影響大ですよ。

2002年のワールドカップ日韓大会の歴史的初勝利(vsロシア)の後に、スクランブル文差点でお祭り騒ぎになっていた風景はワイドショーなどで見た事のある方も多いと思いますが、今回はコロナ禍もあってか、騒ぐ理由が欲しいパリピ達が街に繰り出さないから一切盛り上がり無しでした(笑)

数年前からJリーグやプロ野球等はDAN(ダズン)の有料会員にならないと観れなくなったため、いわゆる『にわかファン』が激減していると言われています。

『にわかファン』という悪い言い方に聞こえるかもしれませんが、『にわかファン』が増えないと新しいファンは増えないので、各スポーツ関係者は『にわかファン大歓迎』で、いかに本当のファンになって貰えるか、が最大の問題となっております。

愛媛県出身の長友・鎌田を応援しよう！

既に3大会連続でワールドカップに出場している長友佑都選手は愛媛県人なら誰もが知ってるかと思いますが、鎌田大地選手は予選の途中はメンバー落ちしていたので、サッカー好き以外の方には意外と知られていないかと思えます。私の知人が作ったサッカークラブ出身で、小学校時代の試合を一度テレビで観まし

たが、とんでもなく上手い子がいて、それが鎌田選手でした。

その後、ガンバ大阪のジュニアユースに合格するも、本田圭佑選手と同様にユースチームには昇格出来ず挫折を経験しました。Jリーガーとなり、ドイツにも移籍し徐々に頭角を現すも、今回のアジア最終予選の時にはメンバー外になる事もありましたが、今年に入って絶好調となり、今や攻撃の中心選手となっています。

長友選手も限界説や不要論もネット上でありますが、個人的には愛媛県出身という忖度無しに選ばれて当然だと思えます。理由は、今大会は登録選手が3人増えた事、1対1の強さは健在、そして何よりも経験が豊富で、例え控え選手になったとしても、決して腐らずチームの為に全力で尽くす事が出来るベテランがいると、不満分子集団が出来ずチームが一つになって結果も出ています！日韓大会の時のゴン中山・秋田、南アフリカ大会の時の川口能活、ロシア大会は最年長ではないけど槇野、いずれも予選リーグを突破しております。尚且つ、前評判が悪い時に予選突破しているという謎のジンクスがございます！

対戦相手が強敵過ぎる問題

今大会の予選リーグの対戦相手が決まった瞬間、日本中に悲鳴が上がりました(苦笑)、優勝経験のあるサッカー大国、ドイツ・スペインと同じグループなのです。(もう一つは後に決まりましたが、日本が苦手な南米の堅守型、エクアドル)最近の国別ランキングが落ちていたので、ドイツが第二シードグループに入ってしまったのが原因で、名前だけでは完全に負け確定、『日本終了』といったところですが、第一戦がドイツという事で、強豪チームはコンディションのピークを決勝トーナメントに合わせるので、一戦目は番狂わせが起こりやすい傾向にあります。

スペインが優勝した南アフリカ大会でも第一戦目は負けていますし、前回のロシア大会ではドイツが韓国に負けていますので、戦術や準備(コンディション調整)次第では分かりません！

可能性としては低いとは思いますが、昔程強くはない(はず)！

でもお強いんでしょ？どうやって勝つの？

では、その強豪にどうやって勝つのか？メッシ(アルゼンチン)、ネイマール(ブラジル)、ムバッペ(フランス)みたいにワールドクラスで絶対的な選手がいらない日本は、魅力的な攻撃的サッカーを目指して勝てる程、世界のサッカーは甘くありません、ブラジル大会のザックジャパン時に勉強しました(苦笑)。

そこで、私、松木安太亮が考える作戦は、ロンドンオリンピックの時にスペインに勝った際と同じ様に、俊足で尚且つ持久力のあるFW前田大善(Jリーグ時代、一試合の走行距離やスプリント回数ランキングで上位を独占していました)がプレッシャーを掛け続けてミスを誘い、相手陣地でボールを奪ってショートカウンター、これに限ると思います。9月のアメリカ戦でも同様の戦術をテストしていましたし、見事にハマっていました。

で、まぐれでも何でも良いからドイツに勝ち、難敵のエクアドルにも内容は何でも良いから勝って2勝(笑)、最終戦のスペインも2連勝で来てくれて、『お互い引き分けなら予選突破ですよ?』というシチュエーションで、観客のブーイングも無視し続けてお互い攻めるフリだけで、暗黙の了解で引き分ける(笑)で、2勝1分けで予選突破というのが、私が考える妄想シミュレーションであります！(現実的ではないです)

気になるテレビ放映ですが、日本戦は地上波で放送あります！そして全試合、ABEMAで無料生放送があるので、インターネット対応テレビ、パソコン、スマホ、任天堂スイッチで視聴可能なのです！皆さま、寝不足にはご注意ください！